

生物多様性に取り組むエキスパートと提携

本学は、2010年6月3日、コンサベーションインターナショナル、ESRIジャパン株式会社、NPO法人EnVision環境保全事務所と、地理情報システム（GIS）を活用した生物と生態系を保全するプログラムを実施することを目的として、包括的連携協定を締結しました。

コンサベーションインターナショナルは、生物多様性の保全に取り組むアメリカのNGOで、世界銀行、日本政府、GEFなどと共同で、「クリティカル・エコシステム・パートナーシップ基金」を実施する国際的自然環境保全団体です。ESRI社は、地理情報システム(GIS)のソフトウェア開発、提供を行っているアメリカの企業で、GIS分野では世界のトップ企業です。

また、EnVision環境保全事務所は、札幌に本部を置き、地域で環境保全活動を進めているNPO法人で、昨年、GISの最も先進的な取り組みを行った団体として、ESRI社から日本で唯一SAG賞（酪農学園と共同受賞）を授与されるなど、情報分野においても国内有数の団体です。

左からESRIジャパン正木社長、コンサベーションインターナショナルジャパン日比代表、本学金子教授、NPO法人EnVision環境保全事務所赤松理事長

今後、本学を含めた4者が協働して、大学がこれまで培ってきたGIS技術を活用し、国内外のNGOと連携するコンサベーションGISコンソーシアムを設立するとともに、日本と地球の生物多様性を保全するデータベースの開発、GISとインターネットによる情報の提供、環境保全政策の提言などを実施していく予定です。